

～精神障がい者の住まいと住まい方を考える～

松本ハウスがやってきた！



ヤ
家

ヤ
家

ヤ
家

家主・不動産事業者の皆さま

ご自身が管理・所有するアパートに
精神障がいがある方を受け入れる際の
不安解消につながる支援や知識等を
学びませんか！

平成31年
1月24日(木)

川崎市医師会館3階ホール

14:00～16:30

(受付開始:13:30～)

主催:川崎市地域自立支援協議会

共催:川崎市居住支援協議会



【お笑いコンビ「松本ハウス」】

「タモリのボキャブラ天国」「進め！電波少年」などで人気を博したお笑いコンビ。ハウス加賀谷が幻覚・幻聴などの統合失調症が悪化し1999年に活動休止。その後、入院生活を経て「松本ハウス」復活までの10年間を綴った感動の秘話『統合失調症がやってきた』を出版。お笑い芸人として活躍する一方、こころの健康や統合失調症の話に全国からひっぱりだこな毎日。『相方は、統合失調症』(幻冬舎刊)好評発売中！

先着
100名

参加費
無料！

地域で暮らすことは
幸せへの第一歩



精神障がいのある方で社会的入院※を余儀なくされている方がたくさんいらっしゃいます。ただ、肝心の「住まい」がなかなか見つからない…そんな声も少なくありません。そこで、ご自身も統合失調症の当事者であるハウス加賀谷さんとその良き理解者である相方の松本キックさんによるお笑いコンビ「松本ハウス」とともに、誰もが安心して地域生活を送る上で不可欠な「住まいと住まい方」について考えてみませんか？ 日々の暮らしでハツ！と気づく、ワツ！と思う、あんなことやこんなことをいっしょに考える2時間半です。

※病状が安定し入院の必要がなく在宅での居住が可能であるにもかかわらず退院後の受け皿がそろわない等の理由から病院で生活をしている状態のこと

【内容】

第1部「松本ハウスのコント」

～統合失調症がやってきた！～

第2部「パネルディスカッション」

～居住支援から考える、誰もが心豊かに暮らせる地域のネットワーク～

(進行:竹島 正／川崎市精神保健福祉センター所長)





セミナーのご案内



平成31年1月24日(木) 14:00～16:30 川崎市医師会館3Fホール

要申込／先着順(100名)／参加費無料

第1部 「松本ハウスによるコント」 ～統合失調症がやってきた～

統合失調症を患ってからの暮らしにおいて、どのような症状に苦しみ、どのような支援が周囲との関わりが重要だったかなど、当事者としての体験談をコントで語ってもらいます。

第2部 パネルディスカッション ～居住支援から考える、誰もが心豊かに暮らせる地域のネットワーク～

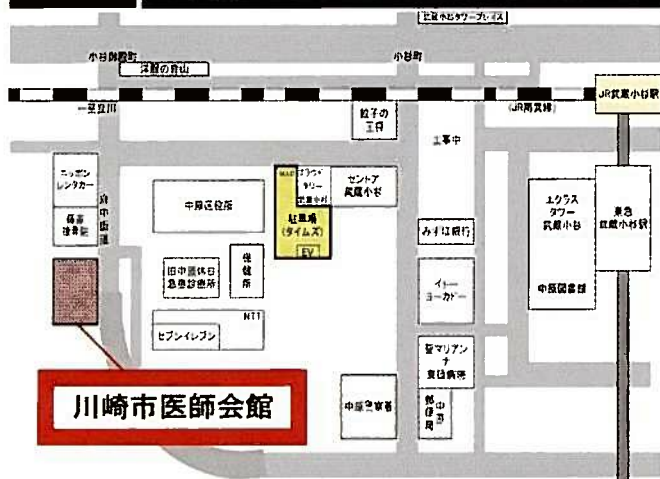
- ・「精神障がいてなんだろう？」
- ・「地域で暮らす時のサービスってなに？」
- ・「精神科病院から退院するってどんなこと？」
- ・「アパート入居に必要なことってどんなこと？」

進行 : 竹島正 (川崎市精神保健福祉センター所長)
パネリスト: 松本ハウス、不動産事業者、行政担当、医療従事者、支援団体など

会場
案内

川崎市医師会館

JR武蔵小杉駅・東急東横線武蔵小杉駅/徒歩7分



竹島 正所長 プロフィール

- 1980年 自治医科大学卒業
- 1981年 国立公衆衛生院専門課程修了
- 1981年 高知県本山保健所、室戸保健所、精神保健センターにおいて地域保健・地域精神保健に従事
- 1997年 国立精神・神経センター精神保健研究所精神保健計画部長
- 2006年 同研究所自殺予防総合対策センター長併任
- 2015年 川崎市健康福祉局障害保健福祉部担当部長
- 2015年 一般社団法人全国精神保健福祉連絡協議会会長
- 2016年 川崎市精神保健福祉センター所長事務取扱

参加を希望される方は、お名前、お電話番号等をご記入の上、このままファックスにてお申込みください。

FAX 044-200-3974

受付開始／
12月3日(月)

申込先着順で、定員になり次第、締め切らせて頂きますので、あらかじめご了承ください。
なお、お電話番号につきましては、受講できない場合の連絡に使用させていただきます。

<お問合せ>

セミナー申込書

TEL 044-200-3197 (川崎市精神保健福祉センター)

お名前	ご所属(事業者名)	事業者所在地・お電話番号
		区 / () -
		区 / () -
		区 / () -